

# 郷土の会だより

発行責任者  
岡村昭則

熊倉晃さんの地域社会活動

熊倉さん司会・進行による「蓮田・白岡地方ユネスコ協会主催」第二回国際文化スタディ」を受講して

岡村 昭則

熊倉さんから「10月30日、自分の関わっている団体の講演会があるので、お時間がとれましたらご参加下さい。」とのメールが届いた。

というのは、さいたま市見沼区に住んでいる私は、妻とよく白岡町J.A「味彩センター」に新鮮な野菜を買いに行くことや、白岡町運動公園にウォーキングに行くことを熊倉さんに話したことがあったので、それを思い出してお誘いしてくれたとのことでした。

伊奈学園卒業前から熊倉さんが地元のユネスコ協会で地域活動をされているとおっしゃっていたことや、私自身も現役時代に仕事上多少なりとも都内のユネスコ協会に協力を頂いたこともあったので、ユネスコにはそれなりに関心もあり、すぐに受講させていただきますと返事を出して、今日の参加が実現しました。また、専科一期健康づくりコースの熊倉征子さんご夫婦も参加されていました。

当日は14号台風が関東地方に接近中ということもあって激しい雨で、これでは参加する方も減るのではないかと、思いつつ会場に来て驚いたのは、ユネスコ協会会員の多くが参加しているとは言え、設営された会場は満席に近い状態であったことです。

これは主催者にとっても講演者にとってもうれしいことでしょうが、一抹の寂しさがあったのは、スイスの国際経営開発研究所（IMD）による海外留学学生数の調査（2009年）で「日本は調査対象57カ国・地域中、41位に低迷」を裏付けるかのように、目を輝かせ海外に関心を持つ若者が見受けられなかったことです。というのは、我が家も息子のお陰でカナダ・イタリア・インド・マレーシア・香港・ネパールの方々が遊びに来てくれました。彼らは日本語で話してくれるので日本人感を聞いて見ると、もつと外国に出て自分たちを主張していくことが一番大事なことでないでしょうかと同じような返事が返ってきます。

だからグローバル世界の中で、日本が国際競争に生き残るためにも、若者の意識が内向きになるのではなく、世界に向けて日本を発信してほしいのです。

講演をしてくださるのは、インドネシア国籍を取得後、日本とインドネシアを結ぶ架け橋として、現在、バリ島で観光会社「ラマツアーズ」を経営する傍ら、様々なボランティア活動を行

っています、**万亀子・イスカンダ**ルさんです。内容はインドネシアとバリ島」の文化伝統、現在の課題やボランティア活動等について紹介していただきました。

私が印象に残ったのは次のことです。

日本文化の中で育った講師が、インドネシアと結婚し、国籍取得後、インドネシア文化を受け入れて生活する中で、日本文化の良さを在住の日系住民に伝えていくため、日本語補修校の開設をはじめ、様々なボランティア活動を展開していることです。

インドネシアの「多様性の中の統一」というスローガンです。民族的にも宗教的にもイデオロギー的にも多様なインドネシアは多民族国家であり、種族、言語、宗教は多様性に満ちている中で、建国以来、紆余曲折があったにせよ、分裂せずに今日まで統一を維持してきた背景には、インドネシアの国是となっている建国5原則をさす**パンチャシラ**を個々の国民が受け入れてきたからこそだと思えます。その建国5原則は現在、以下の順番で数えられています。

- 1、唯一神への進行（イスラーム教以外でもよいが無宗教は認容されない）
- 2、公正で文化的な人道主義
- 3、インドネシアの統一
- 4、合議制と代議制における英知に導かれた民主主義
- 5、全インドネシア国民に対する社会的公正

### ユネスコとは

ユネスコ (UNESCO)は国際連合の専用機関です。正式には「国際連合教育科学文化機関」といいます。右下の図のように、ユネスコは、教育・科学・文化の面で国際協力を進めながら、世界の平和を実現していく機関です。

1945年11月、国際連合の専門機関として発足したユネスコは、第一次世界大戦後、国際連盟の「知的協力委員会」の活動に限界があったことと、なによりも2600万人以上の犠牲者をうみ、広島・長崎・アウシュビッツなどに象徴される悲劇を引き起こした第二次大戦への反省にたち、二度と人類があやまちをおかさないようにとの願いをこめて創設されました。

国際連合 United Nations

ユネスコは国連の専門機関のひとつですから、

教育 Educational

そのメンバーは各国の政府ということになります。

科学 Scientific and

日本では文化科学省にユネスコ国内委員会があり、

文化 Cultural

ユネスコに対する政府の窓口となっています。

機関 Organization

ユネスコの趣旨に賛同して活動を進めている民間のユネスコ協会は現在、全都道府県に280団体あり、各地域で平和づくりの運動に取り組んでいます。

講師の今日に至るまでのご苦労は、並大抵のことではなかったと思いますが、それを乗り越え自分の確固たる人生を築き上げて、各方面で活躍されながら私たちにインドネシアを通して見た日本をお話しいただき、私個人としても少し世界史を紐解く機会となったことに感謝申し上げます。

蓮田・白岡地方ユネスコ協会は、2008年3月に設立されました。埼玉県内では6番目で、地域の皆さんが「地域を知り、世界を知る」ことにより、地域を担う若い世代や失われつつある地域の絆作りに少しでもお役に立ちたいと思い、活動に取り組んでいます。



蓮田・白岡地方ユネスコ協会主催者挨拶



笑いたっぷりの万亀子・イスカンダールさんの講演



バリ島の写真やお人形の作品展示

